

第2節 研修後のアンケート調査（効果測定）の概要と結果

本節では、「就労継続支援 B 型は『訓練』なのか『就労』なのか？第 2 弾。B 型事業所の『働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）』を考える」の研修後のアンケートに関する目的と概要について記載する。

(1) 目的

実施した研修の目的が受講者に伝わり、効果的で意義のある研修となっているかを明らかにするために、また、研修内容の課題について把握すること、受講者の就労に関する意識を明らかにすることを目的として、研修後のアンケート調査（効果測定）を行う。

(2) 調査項目

下記の項目について調査を行った。

- ・研修の満足度について
- ・ディーセント・ワークのへの理解の深まりについて
- ・B 型事業所における障がい者就労に関する研修前後の意識の変化について

(3) 調査方法

研修や受講者の就労に関する意識等を明らかにし、かつ、多くの方に回答いただくため、本調査においては、質問紙によるアンケート調査（無記名）を実施した（調査票については、資料を参照）。

(4) 調査対象と有効回答数

「就労継続支援 B 型は『訓練』なのか『就労』なのか？第 2 弾。B 型事業所の『働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）』を考える」の研修受講者全員に対し、出来る限り回答していただけるようお願いをした。

東京：受講者 96 名、回答者 80 名（回答率 83.3%）

大阪：受講者 199 名、回答者 172 名（回答率 86.9%）

**『B型事業所のディーセント・ワーク研修』アンケート集計表
東京**

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成26年2月14日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 96名

回答者数: 80名 回答率(%): 83.3%

〈問1: 本日の「B型事業所のディーセント・ワーク研修事業」の内容全般について、ご満足いただけましたか。〉

とても満足	19
満足	53
やや不満足	6
不満足	0
計	78

〈問2: (問1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数回答)〉

役立つ情報が得られた	54
日頃の生活や活動に役立った	31
スキルアップにつながった	21
他の参加者との交流・情報交換が図られた	3
抱えていた問題・不安の解消につながった	16
その他	7
計	132

【その他良かった点(主なもの)】

- ・すぐに自分の施設で実践できるものではないが、今後活動をしていく中で一つの答え方として知識を得られた。
- ・作業に対し新しい見方ができるようになった。
- ・我々の事務所は地域の中での展開が多く、法律の枠にあてはまるはず。困っているのでエネルギーになった。
- ・先生の話がわかりやすかった。
- ・これまでの取り組みの方向が間違っていないかなと確認できた。

〈問3: (問1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか。(複数回答)〉

役立つ情報が得られなかった	2
日頃の生活や活動の参考にならなかった	1
スキルアップにつながらなかった	1
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	0
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	2
その他	4
計	10

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・グループワーク等を通して情報交換をしたかったと思う。
- ・理想的ではあり参考にすることが現状になかなか反映できない。

〈問4-1: 今回の研修を受講し、「ディーセント・ワーク」がどういうものか分かりましたか?〉

分かった	64
どちらとも言えない	11
分からなかった	0
その他	0
計	75

【その他考え(主なもの)】

(特に記載なし。)

◀問4-2: (問4-1で「どちらとも言えない」「分からなかった」を選んだ方)その理由を教えてください。(主なもの)▶

・日本にとっては新しい考え方。言いたいことは理解できるが、日本流のやり方を確立しないと広がっていかないですよ
ね。
・PMの朝日先生の講演、パネルディスカッションはタメになった。AMはもう少し有益な情報が欲しかった(資料を見ればわかる内容。)
・言葉の意味、意義については理解することが出来たが、現実の施設利用者へ落そうとした時難しさが残る。利用者より、家族がそのような意味の理解が進むと面白い。
・事業所の現状については理解できたが先の展望についての意見の交換はできていなかった。

◀問5: 今回の研修を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きます。研修の前と後では、B型事業所における障がい者の就労について、あなたのお考えに変化がありましたか？また、それはどのような変化です

変化があった	51
変化はなかった	16
その他	6
計	73

【その他考え(主なもの)】

・大きな変化はないが作業に対する考えは変わった。
・我々はずっとディーセントワークを意識して取り組んできたと確信した。
・事業所(自分を含む職員)の目指す方向性が正しいとの確認。

◀問5の回答の理由も教えてください。「変化があった」と回答した方は、どのような変化があったかも教え

・自分はディーセントワークを意識して日々の業務に関わっていたかどうか疑問。ディーセントワークは自分にとっても良いものだと思うので、自分も含め、事業所の利用者・スタッフ皆が働く喜びを感じちゃんと稼げる就労に向かっていきたいと感じた。
・B型事業所は「訓練」の場であると考えていたが、今日の講演等をきいて「労働」の場であるとの思いを強くした。「結果として訓練になった」というふうに考えれば、訓練と労働の両立は可能であり、また、労働しながらの中で自分の能力を伸ばしていくというように考えればそれは自分自身が働く時となんら変わらないのだという思いを強くした。
・以前作業所に勤めていましたが、請負作業(内職)中心であり工賃を上げたり、環境を変えていく勇気やパワーみたいなものが自分達(スタッフ)にたりなかったかなと思いました。考え方の違いをストレートに感じ、刺激を受けました。
・利用者の方の目の前のニーズと同様、先々のニーズも頭にいれながら対応、支援が必要だと思いました。是非利用者を含み工賃の向上に向けて話し合ってみたいと思いました。
・家族代表の言葉から事業所への思いや不安などが明確になったこと。アンケートよりもリアルな内容だったので。
・障がい者は・・・とひとまとめた話になってしまいがちですが、全ての人が働きたいと思っているわけでもない。生活保護と加算で楽しく暮らしている人たちもいる。一方で就労意欲が高い人も当然いるわけで、障がい者の生き方、色々あ

◀問6: 今日の研修で印象に残った言葉や内容があれば、教えてください。(主なもの)▶

・工賃UPは手段であり目的ではない。
・ニーズベースでの支援
・企業の福祉化／福祉の企業化
・主体(権利の主体性、主体であり続ける、働く主体者)

◀問7: その他、ご意見ご感想(主なもの):

・現実には難しいが、一歩ずつ理想に近づけていくことが我々の仕事。皆に喜ばれるような施設作りをしていきたい。
・今回のようなディーセントワークについて考える研修を法人内でも実施していきたいと思いました。
・特別支援学校に子どもを通わせている親の気持ちや、B型事業所の実践者の方の意見等、会場参加者から聞くことが出来て良かった。勉強になります。
・グループに分かれてディスカッションをしたい。
・知的障害の分野での考え方が話題の大半を占めていた気がします。精神障害の方の特有の難しさとB型の在り方を今後はテーマにして頂きたいです。
・各地域において研修を行って欲しい。また希望する事業所への講義の時間を取り入れて欲しい。
長時間の座学を行うことに対する配慮が欲しい。また、パワーポイントの字をもう少し大きくして欲しい。今後参加者に障がい者がふくまれることを想定した会場作りをして欲しいなど感じた。
・福祉職(B型)の内容より、企業向けの講演を聴きたくなった。企業に向けて福祉の人間がどう働きかけると良いかの策が見えると思ったので。

《性別》

男性	37
女性	40
計	77

《年齢》

20代	8
30代	28
40代	17
50代	16
60代	6
70代	0
80代	0
計	75

《職業》

B型管理者	22
B型職員	43
行政職員	0
その他	13
計	78

【その他回答(主なもの)】

- ・就労移行職員
- ・生活介護職員
- ・NPO運営
- ・医療

**『B型事業所のディーセント・ワーク研修』アンケート集計表
大阪**

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成26年2月19日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 199名

回答者数: 173名 回答率(%): 86.9%

《問1: 本日の「B型事業所のディーセント・ワーク研修事業」の内容全般について、ご満足いただけましたか。》

とても満足	31
満足	123
やや不満足	12
不満足	0
計	166

《問2: (問1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数回答)》

役立つ情報が得られた	98
日頃の生活や活動に役立った	59
スキルアップにつながった	47
他の参加者との交流・情報交換が図られた	6
抱えていた問題・不安の解消につながった	30
その他	15
計	255

【その他良かった点(主なもの)】

- ・中島先生のお話が面白かった。
- ・別の視点からの学びができた。
- ・自分の事業所だけの課題と思っていたことが全体としてもそうだと分かり、次の対策を考えることが出来た。
- ・B型事業所の存在意義を知り、考えていく必要があることを学べることが出来た。
- ・ディーセントワークは無許可時代から大切にしてきた働きがいを支える支援の原点だったことを再確認することができた。工賃UPに追われ見失っていました。

《問3: (問1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか。(複数回答)》

役立つ情報が得られなかった	3
日頃の生活や活動の参考にならなかった	2
スキルアップにつながらなかった	1
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	0
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	5
その他	5
計	16

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・人数が多く、会場も狭く、きゆうくつだった。
- ・対象を全て網羅されているわけではないので、(例えば、年齢とか)故に現在私たちが抱えている問題の解消のきっかけには繋がりにませんでした。どちらかと言うと知的障害に比重が置かれているように感じた。

《問4-1: 今回の研修を受講し、「ディーセント・ワーク」がどういうものか分かりましたか?》

分かった	121
どちらとも言えない	34
分からなかった	3
その他	1
計	159

【その他考え(主なもの)】

- ・なんとなく分かった。これから実践で理解を深めていきたい。
- ・問い続けたい。

◀問4-2: (問4-1で「どちらとも言えない」「分からなかった」を選んだ方)その理由を教えてください。(主なもの)▶

・なんとなくは理解したが、まだ自分の言葉で説明できない。
・理念や考え方は分かったが、自分の施設で具体的にどう実践していけばよいのか分からない。(この意見多数)

◀問5: 今回の研修を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きします。研修の前と後では、B型事業所における障がい者の就労について、あなたのお考えに変化がありましたか？また、それはどのよ

変化があった	90
変化はなかった	47
その他	11
計	148

【その他考え(主なもの)】

・消化できていない。
・事業所に持ち帰り議論が必要。

◀問5の回答の理由も教えてください。「変化があった」と回答した方は、どのような変化があったか

・自事業所の取り組みの不十分さ・未熟さを痛感した。
・工賃向上を前提に取り組んでいたが、利用者のニーズをまず考えることが大事で、工賃向上は結果として後からついてくるということが分かった。職員の意識改革が必要。
・視点を考える大切さを実感した。
・自分が今まで考えていたこと・思っていたことが間違っていなかったと分かり、不安が軽くなった。
・働きがい大切にあまり、工賃UPを避けていた。再度原点に立ち返り、仲間と共に工賃UPを目指してい

◀問6: 今日の研修で印象に残った言葉や内容があれば、教えてください。(主なもの)▶

・失敗する権利(を保障する)
・障害は個人ではなく社会にある
・成功も失敗もできる場所
・Dignity of Risk
・障がい者は社会を映す鏡

◀問7: その他、ご意見ご感想(主なもの):

・何を大事に給料を上げるのか、利用者にとって何が重要かということ、今回の研修で勉強させてもらった。学んだことを参考にして考え、現場で活かしていきたい。
・中島先生の経済学から分析した福祉の課題がわかりやすく参考になった。パネルディスカッションも具体的な実践の話だったので、考え方や方法なども参考になった。
・ビジネス感や、数字、営業など、B型の収益を上げるための研修を希望します。
・現場に理解してもらえるような説明ができるスキルなど、スキルアップにつながる内容を入れて欲しかった。

《性別》

男性	97
女性	69
計	166

《年齢》

20代	30
30代	47
40代	44
50代	19
60代	15
70代	2
80代	0
計	157

《職業》

B型管理者	48
B型職員	90
行政職員	3
その他	27
計	168

【その他回答(主なもの)】

- ・中間支援団体
- ・生活介護職員
- ・就労移行職員
- ・多機能型管理者